

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】☐H23（A－Ⅱ）☒H24（Ⅰ）☐H24（Ⅱ）【AIMS】☐H25／

東京大学

■プログラム名

アジア都市環境保健学際コンソーシアムの形成

――以下、タイに特化した内容を主にご記載ください。――

■相手大学・機関（国名も記載ください）

アジア工科大学院（タイ）、タマサート大学（タイ）、チュラロンコン大学（タイ）、マヒドン大学（タイ）

■主な活動内容（概要）

- ①3～4ヶ月の1学期間の交換留学の中で、単位互換による単位取得を目指す派遣・受入れプログラム。
- ②2週間程度の短期研修の中で、単位付与による単位取得を目指す派遣・受入れプログラム。
- ③シンポジウムにおいて開催する学生セッションなどでの単位付与を伴わない交流プログラム

■プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください）

現状・課題

- ・ JASSO 奨学金が日本人にしか適用されないため、東京大学の正規課程に在籍する外国人と日本人の間でプログラム参加の条件が異なってしまうが、その差を埋める方法がなく、問題となっている。
- ・ 相手国側には、日本側のような経費措置がないために、留学に関する全ての学務・事務作業を無償で行ってもらっているが、円滑に進める上では障害となっている。
- ・ クーデター以降、危機管理に注意を払う必要があると認識しているが、詳しい情報が得られず、困ることがある。

成功事例

- ・ 1学期間の交換留学では、単位互換を行った実績がある。
- ・ これまでのところ寮にも入ることができている。
- ・ 交流も順調に進んでいる。